

令和元年度 校内授業研究会

研究テーマ

児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり（三年次）
～ 児童生徒一人一人の学習評価を通して ～

第1回 令和元年6月11日（火）

研究協議対象授業 高等部 第1学年 美術

指導助言者 広島県教育委員会教育部特別支援教育課 指導主事 松浦 知佳子 様

第2回 令和元年7月10日（水）

研究協議対象授業 中学部 第3学年 総合的な学習

指導助言者 広島県教育委員会教育部特別支援教育課 指導主事 松浦 知佳子 様

第3回 令和元年11月19日（火）

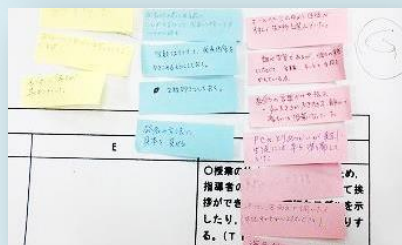
研究協議対象授業 中学部 第3学年 保健体育

指導助言者 広島県立教育センター 特別支援教育・教育相談部 指導主事 今野 満美子 様

校内授業研究会の様子

本校では、研究テーマを「児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり（3年次）～児童生徒一人一人の学習評価を通して～」と設定し、研究を推進しています。校内授業研究会では、全教員が、体育、音楽、美術、生活単元学習、総合的な学習の時間、自立活動の各教科等のグループに分かれ、年間を通して、情報交換や授業参観、ワークシートに沿ってのグループ協議や、授業研究会での授業提案を行っています。

校内授業研究会では、『「主体的に学習に取り組む姿」に関する具体的な児童生徒の姿や行動について』に焦点を当て、協議を進めています。対象授業をビデオで視聴した後に、各グループに分かれ、3色の付箋に、「児童生徒の主体的な姿」、「良かった点」、「提案したいこと」の3点について記入し、学習指導案の学習課程に付箋を貼って意見交換をしました。



各グループで出た意見は授業者に返し、今後の授業づくりの参考にしてもらいました。また、グループ協議では「主体的に学習に取り組む態度」に関することについて互いに意見を出しあうことで意見交換の場になり、より良い授業作りのための学習の場となりました。